

## 熊毛地区の農業を盛り上げたい



種子屋久農協青壮年部は、11月15日に熊毛支庁を訪問し「熊毛支庁とJA青年部との語る会」を開催しました。

地域の担い手として農業に従事する青年部のメンバーを中心に、県農協青壮年組織協議会の代表者を交え、離島ゆえの担い手不足・労働力不足の現状や若手生産者として関心が高いスマート農業の導入、猛威を振るう基腐病対策などについて、生産者目線からの課題や取り組みの紹介、若手生産者が抱えている悩みや要望などを支庁担当者と協議し、支庁から

も情報提供やアドバイスがなされました。

参加者からは様々な意見が出され、当初予定していた時間を超過した協議となり、西之表支所青壮年部の長野支部長は、「行政と膝を交えて語ることで、地域の農業が抱える課題を生産者は改めて認識するとともに、熊毛支庁とも共有でき、担当者のこともより身近に感じることができた。今後も様々な相談をしようと思うが連携して解決に取り組むことで熊毛地区の農業を盛り上げたい。」と語る会に手ごたえを感じた様子でした。

## 食農教育あぐりスクール「芋掘り体験」

11月19日、令和5年度あぐりスクール「芋掘り体験」が開かれ、管内の小学校から25人が参加しました。

西之表市安城地区の川畑次博さんの圃場にて、サツマイモの成長過程や種類、収穫作業等について、川畑さんや中里営農指導員から説明を受けたあと、子供たちは農協のお兄さん、お姉さん（JA種子屋久青年女性部西之表支部）と一緒にたくさんの芋を収穫しました。

収穫後は、焼き芋の試食会を行い、子供たちは甘～い安納芋を口いっぱいほお張っていました。帰りには、JA女性部西之表支部より芋餅など手作りのお菓子をお土産に頂き、「いっぱい収穫できて楽しかった」「おいしかった」と声を弾ませていました。

